

達成しよう
組織数700人



発行
建設埼玉 鳩ヶ谷地区本部
〒334-0013
川口市南鳩ヶ谷4-24-20
TEL 048-287-0066
FAX 048-287-0068
http://ken-hatogaya.com

18人拡大で13年連続達成



秋の拡大月間

2023年度秋の拡大月間は、13年連続で目標を達成することが出来ました。期間は、8月1日付加入から11月1日付加入までの3カ月間で、鳩ヶ谷地区本部は14名の目標に対し拡大数は18人、拡大率は128・57%となりました。建設埼玉全体でも322名の目標に対し416人の拡大に成功しており、埼玉県各地の仲間が奮闘しました。

秋の拡大月間は、組合員の皆様より多くのご紹介を頂き、10月11日に目標数に到達し、13年連続で目標数を達成することが出来ました。

拡大月間に向けて

7月14日(金)、里公民館にて鳩ヶ谷地区本部拡大実行

委員会を開催し、本格的に拡大行動を開始させました。まずは、未加入者への対外宣伝として8月7日(月)と9月4日(月)の読売新聞朝刊に宣伝チラシ計5万2300枚の折り込みを決定し、組合員への周知については、機関紙およびホームページで周

知に努めていくことにしました。そして、さらなる周知のために組合員宅への訪問を行うことが決まりました。訪問の際には、鳩ヶ谷地区本部独自で作成したクリアファイルとボールペンおよび本部から支給されたクリアファイルも併せて活用し、加入を呼び掛けていくことになりました。

また、拡大月間中の紹介者には御礼を上乘せし、クオカード2000円に加え、現金5000円を進呈することを決定しました。

拡大月間中の行動

9月3日(日)には、拡大統一行動を行い、25件の組合員宅を訪問しました。今回は

組織部長による総括



鈴木秀彦組織部長

鳩ヶ谷地区本部は、目標達成に向け、事務所の書記さんと一体となって加入者宅訪問を実施しました。若者に興味を持ってもらうため、鳩ヶ谷地区本部独自のホームページを作り、力を入れてきました。他にも、新聞へのチラシ折り込みや未加入者へ

鳩ヶ谷地区本部は、目標達成に向け、事務所の書記さんと一体となって加入者宅訪問を実施しました。若者に興味を持ってもらうため、鳩ヶ谷地区本部独自のホームページを作り、力を入れてきました。他にも、新聞へのチラシ折り込みや未加入者へ

鳩ヶ谷地区本部は、目標達成に向け、事務所の書記さんと一体となって加入者宅訪問を実施しました。若者に興味を持ってもらうため、鳩ヶ谷地区本部独自のホームページを作り、力を入れてきました。他にも、新聞へのチラシ折り込みや未加入者へ

今期の目標は700人



対応頂いた吉田秘書(右2) 前原市議(右)



対応頂いた板倉秘書(右)

また、毎年皆様には直筆のハガキ要請にご協力頂いており、今回は1479枚のハガキを頂くことが出来ました。お忙しい中、ご協力ありがとうございました。

建設国保を守れ!

国会議員要請ハガキ要請行動

11月7日(火)、国会議員2人に対し川口地区本部ととにも要請を行いました。当日は、鳩ヶ谷地区本部から3人、

川口地区本部から3人が参加し、高橋英明衆議院議員(日本維新の会)及び新藤義孝衆議院議員(自由民主党)の地元事務所を訪れました。新藤事務所訪問の際は、前原博孝川口市議会議員にも同席頂き、組合要請を後押しして頂きました。

「要請内容は理解しており、しっかりと議員に伝える。今後建設国保を守っていきたい」と回答を頂きました。

高橋英明議員事務所では板倉秘書にご対応頂きました。「建設国保は重要。令和6年度予算も維持することが出来た。毎年ご協力頂いている要請ハガキの成果だ」と回答を頂きました。

また、保険証交換会や健康診断等を利用し、未加入者の紹介をお願いしました。これらの活動と皆様のご協力により、14名の目標数に対して

18人の拡大に成功しました。これからも、年間純増に向け皆様のご協力が必要となりますので、引き続きよろしくお願ひします。



雨の中でも団結ガンパロウで心を一つに

物価高騰から仕事と暮らしを守れ



全建総連11・17賃金・単価引き上げ、 予算要求中央総決起大会

11月17日(金)、日比谷野外音楽堂にて「全建総連11・17賃金・単価引き上げ、予算要求中央総決起大会」が開催され、全国46県連・組合から1812人が集結しました。建設埼玉からは130人が参加し、鳩ヶ谷地区本部からは、薄井執行委員長を始め、6人が参加しました。

主催者を代表して、中西孝司全建総連中央執行委員長は「仲間の仕事と生活が危機に

直面している中で、物価高騰対策の施策、建設国保補助金確保、建設技能者の処遇改善など要求の実現のために、全国61万人の一層の団結が必要」と呼び掛けました。基調報告では、勝野圭司全建総連書記長より「閣議決定された補正予算案の中には、この間、全建総連が求めてきた住宅市場の需要喚起策や係る予算が盛り込まれ、評価したい。概算要求で示された国保組合関連

予算2732億5千万円を踏まえ、年末に向けて今後も一層取り組みを強化していく」と訴えました。

その後、「建設国保・強化育成」「賃金・単価大幅引上げ」のプラカードアクションを行い、最後は、高橋全建総連副委員長が音頭を取り、団結ガンパロウで閉会しました。

集会後はデモ行進

集会後には、デモ行進が実施されました。日比谷公園から



銀座の街でデモ行進する役員たち

「建設国保を守れ」「賃金・単価を上げる」「インボイスは見直せ・延期しろ」などのスローガンを訴え続けました。参加者からは「あいにくの雨にもかかわらず、多くの仲間と集まることが出来て良かったです。今後も組合活動に取り組み



賃金・単価アップ等 待遇改善を求めて

関東地協第78回大手企業交渉

10月19日(木)〜20日(金)を中心に、「第78回大手建設・住宅企業交渉」が行われ、ゼ

ネコン28社、サブコン4社、ハウスメーカー8社、計40社に対し、現場労働者の要望を伝えました。関東地方の11県連・組合から600人が参加し、建設埼玉からは32人が参加しました。



交渉に向け、威勢を上げる参加者

今回は、主に賃金・単価アップやインボイス制度・働き方改革などについて交渉を行い、鳩ヶ谷地区本部からは、鈴木信一賃金対策部長が参加し、竹中工務店との交渉に臨みま

した。

竹中工務店との交渉では、「現在、人員確保が難しくなっており、賃金を上げる必要が出て来ている」「その賃金アップが二次・三次まで行き渡っているか調査すべき」という点について、共有することができました。

鈴木賃金対策部長は「まだまだ認識に隔たりが大きい。粘り強い交渉が必要」と決意を新たにしました。

この交渉は、大手企業に対し、現場労働者の賃金引き上げや建設現場での働き方改革実現への具体策を追求すべく年2回行っています。今後も継続して職人の待遇改善等を強く訴えていきます。

補助：接種に要した費用に対し、1人2000円を上限に実費を補助。2回接種法の場合合計金額。

期間：2023年10月1日から2024年1月31日までの予防接種



インフルエンザ 予防接種補助

11月に組合が開催したインフルエンザ集団予防接種とは別に、各自で医療機関でインフルエンザ予防接種を受けた方にも補助制度があります。

対象：接種時に65歳未満の組合員、または65歳未満の建設国保被保険者

申し込み：3月29日までに必要な書類・領収証(コピー可) ※接種を受けた方のお名前、接種日、医療機関名、インフルエンザ予防接種と明記されているもの

必要書類：領収証(コピー可) ※接種を受けた方のお名前、接種日、医療機関名、インフルエンザ予防接種と明記されているもの

春の健診のお知らせ(再掲)



【日時】2月25日(日)
【受付】9時00分~12時00分
【場所】鳩ヶ谷支所
(川口市三ツ和1-14-3)

【費用】組合員・建設国保加入者：無料
上記以外の方 定期健診：8,800円
基本健診：6,600円

- 【オプション】
- 腫瘍マーカーセット・・・11,000円
 - 前立腺がん検査 ※1・・・2,610円
 - 子宮頸がん検査 ※2・・・2,200円
 - 卵巣がん検査 ※2・・・2,750円
 - 乳がん検査 ※2・・・2,750円
 - ピロリ菌検査・・・1,560円
 - B型肝炎検査・・・1,980円
 - ※1は男性腫瘍マーカーセットに含まれます。
 - ※2は女性腫瘍マーカーセットに含まれます。
 - 有機溶剤検査・・・2,340円 ~4,680円
 - 溶接ヒューム検査・・・1,870円

★申込書は後日郵送いたします。

鳩ヶ谷地区本部の ホームページを開設しました



よろしく
お願いします♪



鳩ヶ谷地区本部HP